

KVBC 99' 納涼会



「不況」「不景気」と、暗い話題が続いている1999年。まだまだ安心はできませんが、最近では「景気に明るい兆しが見えてきた」という声も少しずつ聞かれるようになりました。

そんな景気のおおききを受けながらも、ますます活動を活発化させているKVBCですが、今年も夏の宵のひとつときを楽しもうと、「納涼会」が

8月6日（金）に開催。京都パークホテルにおいてハワイアンバンドを迎え、楽園の雰囲気さながらに盛大に行われました。

60名の出席者を得た今年の納涼会は受付で一人ひとりにレイが手渡され、本格的なムードを演出。副代表幹事の田中久代氏、幹事の関義一氏、青山雄二氏による趣向をこらした企画が光る会となりました。

会場の雰囲気には圧倒されている間もなく、青山幹事の開会のあいさつに続いて、向園代表幹事から、「1985年以来、来年8月で結成15周年を迎えるKVBCですが、ますます会員が素晴らしい成長を遂げ、またご活躍の場面をみると、結成されたことを本当に喜びに感じます。本日も最後までご歓談等しながら楽しくお過ごしください」とのあいさつがありました。

続いて島田與三右衛門 京都市産業観光局商工部長より来賓のあいさつ、そして辻カウンセラーによる乾杯の音頭を皮切りにいよいよ食事、歓談タイムへ。お料理やお酒が次々に運ばれ、ハワイアンバンド「アイランド・ブルー」による素敵な演奏と美味しいお酒に酔いしれ、みなさんうっとり。

中盤には来賓の松田幸夫 近畿通商産業局産業企画部地域振興課長のあいさつがあり、そして、田中副代表幹事による歌声、井畑氏らによるダンスも披露され、会はいよいよクライマックスへ。

ハワイアンバンド演奏後には西河勝男カウンセラーがあいさつされ、続いて飛び入りで一言、お知らせや連絡事項、社員紹介として、新しく就任された日本コンピュータファシリティ（株）代表取締役社長土井達也氏のあいさつや、特別プロジェクト「J&Hプロジェクト」の紹介、さらに近く KVBCバッジが完成するという事務局からののお知らせもありました。また今回は、関幹事の奥さまをはじめ各会員のご夫人方の紹介もあり、会員相互の情報交換の場も設けられました。

楽しい会もそろそろ終盤。中締めとして、幹事を務めた三人から閉会のあいさつがあり、そしてあらかじめ手元に配られていた歌詞を見ながら「いつでも夢を」の大合唱。最後は一本締めで、今年の納涼会も大成功のうちに幕を閉じました。

